# ウメモト インフォメーション

2020 年 8 月 3 日　担当者: 岩崎

## イラクの製油所設備建設

# 日揮、4000億円で受注

日揮ホールディングス（HD）はイラク最大級の製油所の近代化プロジェクトを約4000億円で受注した。国際協力機構（JICA）が同額の円借款を提供し、日揮HDは設計や建設などを請け負う。原油精製の設備を増設し、ガソリンや軽油などの生産量を約3倍に高める。2003年に起きたイラク戦争後の日本の復興支援としては過去最大の規模となる。

財務省の貿易統計によると、19年の日本の原油輸入量に占めるイラクの比率は1・4%で7番目の相手国だ。復興支援で現地の政情が安定し、原油の調達拡大などにつながれば、日本のエネルギー政策にも寄与すると見込まれる。

日揮HDがイラクで大型案件を受注するのは初めて。傘下の日揮グローバルがイラクの国営石油公社から受注した。10月上旬にも正式に契約を結ぶ。イラク南部のバスラ製油所に石油精製装置などを新設し、25年の完成を予定する。建設中は約7千人の現地雇用が見込まれるほか、建設作業の終了後も製油所の作業員として2千人以上を現地で雇用するとみられる。

引用記事 ： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報

# ウメモト インフォメーション

2020 年 8 月 3 日　担当者: 岩崎

# 米原油生産に底入れ感

## シェール 優良鉱区で再開

## 大手優位鮮明、再編加速も

【ニューヨーク＝中山修志】米国で原油生産に底入れの兆しが出てきた。原油先物指標のWTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）が1㌫40㌦近辺まで回復してきたことで、優良鉱区を持つシェール企業が生産再開に動き始めた。ただ、米国の国内在庫はなお高水準にあり、シェール業界の優勝劣敗が鮮明になりつつある。

米エネルギー情報局（EIA）が7月29日に発表した24日時点の米原油生産量は日量1100万㌫と、6週連続で同水準だった。米国では新型コロナウイルス感染拡大による在宅勤務の広がりで自動車用のガソリン需要が大幅に減った。米原油生産は過去最高だった3月13日の同1310万㌫から、6月12日の同1050万㌫まで減り続けたが、底入れの兆しがある。

毎月更新する2020年通年の生産見通しも7月、日産1163万㌫と7カ月ぶりに上方修正された。米原油生産の7割を占めるシェールで動きが出てきている。

米シェール企業はWTIが史上初のマイナスにまで下落し一時は打撃を受けた。6月下旬に1㌫40㌦近辺にまで回復。米メディアは、新規の油井掘削や仕上げ活動を休止していた中堅シェールのパースレイ・エナジーがこのほど生産活動を再開したと報じた。EOGリソーシズやコノコフィリップスなども生産を再開したという。

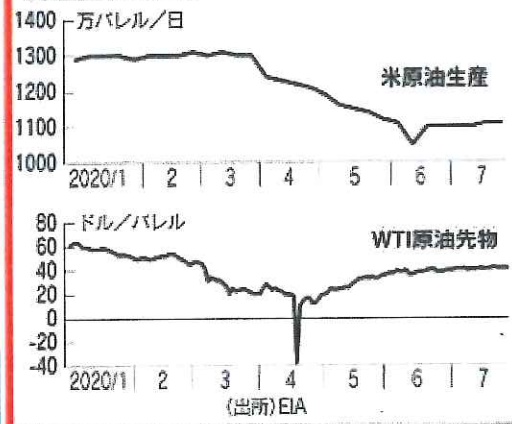
再活動する企業に共通するのは南部の米最大鉱区パーミアンに油井を持つ点だ。地下のシェール層が比較的浅い場所にあり生産コストが低いうえ、製油所が集中するメキシコ湾に比較的近く輸送コストもかからない。

もっとも、1㌫40㌦近辺で新規の生産に動けるシェール企業は少なく、大半はいまだ苦境から脱せない。米法律事務所ヘインズ&ブーン社によると、20年4～6月期の米石油開発会社の破綻件数は18社と、1～3月期の5社に比べ急増した。6月28日にはシェールの名門チェサピーク・エナジーが破綻した。

経営破綻したシェール企業の大半はカナダ国境に近いバッケン鉱区や西部のニオブララ地区など、生産コストが比較的高いとされる鉱区を基盤とする。20年に破綻した石油開発企業の負債総額は計306億㌦（約3兆円）と直近最高の16年（負債総額は568億㌦）に迫る勢いとなっている。

7月24日の米国内の石油在庫（戦略備蓄を含む）は過去最高水準の21億1千万㌫。テキサス州の石油サービス会社幹部は「全米の在庫過剰はより深刻になっている」と話す。油井の質や規模で劣るシェール企業は厳しく、資金力に余裕がある石油メジャーやシェール大手を中心とした再編が加速するとみられる。

在宅勤務拡大で需要が減った原油の価格は持ち直してきた




（出所）EIA

8/2 日経

引用記事 ： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報

# ウメモト インフォメーション

2020 年 8 月 3 日　担当者:小松

エネクス

## 純利益32%増

### 4~6月LPG・電力堅調

伊藤忠エネクスは7月31日、取締役会を開き2021年3月期第1四半期（4~6月）連結業績を確定した。売上高は前年同期比32・7%減の1482億円、営業利益は3・1%増の44億円。株主に帰属する四半期純利益は32・4%増の36億円だった。

新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要で家庭用LPガスと電力の販売量が堅調に推移するなどで、減収増益になった。決算概況は次の通り（カッコ内は前年同期）。

▽売上高1481億8100万円（2202億1600万円）▽営業活動に係る利益44億4700万円（43億1200万円）▽税引前四半期利益52億5200万円（47億8700万円）▽当社株主に帰属する四半期純利益35億7800万円（27億100万円）。

引用記事 ： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報

# ウメモト インフォメーション

2020 年 8 月 3 日　担当者: 小松

## 愛知県の土木工事会社を子会社化　コニシは、土木工事を手がける山昇建設（愛知県名古屋市）を子会社化したと発表した。コニシグループの補修・改修・耐震・補強工事にかかわる材料・工法・施工と全国の営業網を活用し、相乗効果を発現させ、土木建設事業の拡大につなげる。

山昇建設の株式91%を保有した。取得日は7月29日で、価格は数億円とみられる。山昇建設は東海地方を中心に橋梁の補修工事などを行っている。従業員数は約30人で、1級建築施工管理技士が多く所属している。2019年9月期の売上高は12億円、営業利益1400万円、経常利益2000万円、純利益1200万円。

コニシはシナジーを最大化できるよう山昇建設と、ボンドエンジニアリング（大阪市鶴見区）をはじめ既存の土木建設関連グループ会社との連携を探る。

## 海プラ問題解決に向け実証プロジェクト開始

大日本印刷は、3月から協働企業として参画する「Alliance for the Blue」を通じ、海洋プラスチックの解決に向けた取り組みを始めた。7月29日にキックオフミーティングを開催。使用ずみ容器や樹脂製品を資源として捉え、利用者間などでの共有を目指す循環型利用モデルの構築などの方向性を確認した。サプライチェーンの各流域に位置する企業が連携。第一弾となる実証プロジェクトは、樹脂リサイクル事業を手がけるリファインバース（東京都中央区、越智晶社長）と同社が中心となって推進していく。

引用記事 ： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報

# ウメモト インフォメーション

2020 年 8 月 3 日　担当者: 小松

## 米ぬか由来機能成分の工場稼働

### 東北大発VB

東北大学発ベンチャーのファイトケム・プロダクツ（仙台市、加藤牧子社長）は、米ぬか由来の未利用油から機能性成分であるスーパービタミンEとビタミンEなどを製造する工場が完成、稼働したと発表した。今後、サプリメントや食品・化粧品の原料として販売する。同時に食品・化粧品メーカーとの協業も加速させる。

同大学大学院工学研究科北川尚美教授が開発したイオン交換樹脂を用いたフロー型の反応分離システム（イオン交換樹脂法）を用いる。従来、スーパービタミンEはパーム由来のものが、ビタミンEは大豆由来のものが使用されてきた。

同システムを用いることにより、食用油の製造工程で発生する未利用油を原料に、スーパービタミンEなどの機能性成分を分離回収できる。残る油成分は、機能性成分の回収と同時に、バイオ燃料に変換されるため、そのまま発電燃料として利用できるという。北川教授は、米ぬか由来の未利用油からパラフィンの製品化にも新たに成功している。

ファイトケム社は同工場の建設に向け、昨年9月に東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社（THVP）を無限責任組合員とするTHVP1号投資事業有限責任組合からの資金を調達した。

引用記事 ： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報

# ウメモト インフォメーション

2020 年 8 月 3 日　担当者: 椎野

## ファミマ、「ファミチキ」の廃油でバイオ燃料

環境エネ・素材　小売り・外食　関東　神奈川

2020/7/31 10:30 | 390文字 ［有料会員限定］

保存　共有　印刷　その他

ファミリーマートは店舗への配送トラックにバイオディーゼル燃料を採用する。フライドチキン「ファミチキ」などを調理した廃食油を再利用し、ミドリムシの研究を手がけるスタートアップのユーグレナとバイオ燃料を精製する。

バイオ燃料はバスで採用例があるがトラックでは初めて。横浜市内の2店舗から1月あたり約300リットルを回収し、ユーグレナのプラントでミドリムシを混ぜてバイオ燃料を精製する。2020年9月から横浜市内を走るファミマの配送トラック1台で使う。

画像の拡大

ファミリーマートは配送トラックにバイオ燃料を採用する

軽油の代わりに使うことで二酸化炭素（CO2）排出量を減らせる。既存のトラックの燃料として使えるため、電気自動車（EV）などと比べて導入コストも抑えられる。現状ではバイオ燃料の生産コストが1リットルあたり約1万円と高額で、普及には量産体制を整えられるかが課題になる。

両社は14年からミドリムシを配合した食品などの商品開発に取り組んできた。

引用記事 ： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報